

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホーム みのり菊水元町		
所在地	札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成23年4月25日	評価結果市町村受理日	平成23年6月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>ゆったりとその人らしく暮らしていただけるよう、努力しております。</p>
---

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170502512&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170502512&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成23年5月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「グループホーム みのり菊水元町」は閑静な住宅地に立地し、同法人が経営する有料福祉施設と併設した2ユニットのホームである。近くには公園や河川敷があり、散歩に適した豊かな環境に恵まれている。建物前の広い庭は、日光浴や福祉施設利用者との交流の場として、また事業所行事のバーベキューや花火大会には住民と一緒に楽しむ交流の場としても活用されている。建物内は広く清潔で、非常時の出入口も多い。災害時に備えて地域との協力体制を作り、利用者に安全な環境を提供している。法人で最初に開設し7年を経過した当事業所は、医療機関と密に連携し利用者の健康を守り、また外出の機会を多くして生活リハビリ面にも留意している。利用者は地域の集まりに参加したり、近くの公園や河川敷の「桜の杜」を散歩して住民や子供と挨拶を交わし、日常的に交流している。運営者は教育体制の充実やマニュアルを整備して、職員が働きやすいように環境を作っている。法人の各施設間の交流や本部の強力なバックアップの下で、管理者と職員は質の良い、心のこもったケアを提供し、個別支援を行っている。目標達成計画から介護計画作成過程を分かりやすい書式に変更し、熱心に取り組まれている。職員は親しみをもって丁寧に接しており、利用者の間でも笑顔で会話が交わされている。</p>
---

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員等の2/3くらいが 3. 職員等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着を念頭に当事業所の理念を作成し、毎朝唱和する事で理念の共有・実践に努めております。	法人の経営理念に沿って事業所独自の理念を掲げ、意識をもって住民と触れ合い、地域に開かれた事業所を目指している。ユニット会議などで利用者の望んでいることを話し合い、個別性を重視したケアを実践している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で開催される行事に参加したり、近所のお店へ利用者様と共に買い物へ行くなど、地域で暮らすことを念頭に日々心がけております。また、毎年、地域交流パーベキュー・花火大会を開催し、地域の皆様と過ごす機会を作っております。	町内会の行事や活動に参加し、地域の高齢者を対象にした「ふれあい広場」にも参加し、交流や作品作りを楽しんでいる。近くにある河川敷「桜の杜」で散歩中の住民や小学生、幼稚園児と会話を交わしたり、近隣から花をもらうなど身近な交流が日常的に行われている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日々の生活の中でお散歩やお買い物、町内会で開催されるふれあい広場や町内会行事への参加を通じて地域の方々とふれあい、認知症の方々への理解を伝えることができるよう努めております。また、町内の方々からのご相談を伺えるようになってきております。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度当ホームにて運営推進会議を開催し、ご家族様、地域の方々、地域包括支援センター職員より様々なアドバイス、情報を頂くと共に、当施設で行う避難訓練にも消防署、消防団の方々、近隣の方々にも参加頂き協力体制の構築に努めております。	運営推進会議では災害対策や地域情報の意見交換は行われているが、主に利用者の状況、行事、外部評価の結果など、報告を中心に進められている。利用者や利用者の家族が代表として交代で会議に参加しており、議事録は全家族に送付されている。	会議の中で、医療・食事・認知症のケアなど、事業所独自のテーマも盛り込み、内容の充実に期待したい。また、全員の家族に会議案内を送付し、複数の家族が参加する中でメンバー間の意見交換の場としての会議に期待したい。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は市や区の関係各所との会議等に出席し、情報収集、意見交換に努めると共に、職員も市や道の開催する研修等に積極的に参加し、交流、質の向上に努めております。	管理者は市、区の会議に参加する他、電話や出向いて必要なことを担当者に相談している。SOSのメンバーになり、またグループホーム協会関係者を講師にした認知症サポーター養成講座も受講し、認知症支援事業にも積極的に参加している。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	地域の交番、地域の方々、ご家族様の協力を得、ご本人様の意思を尊重し、玄関にセンサーを設置した上で日中は自由に外出できるように支援しております。また、社内に身体防止委員会を設置し、身体拘束廃止に努めております。	本部で作成した「身体拘束・虐待防止マニュアル」を備え、本部設置の委員会に代表の職員がメンバーになり、内容を共有できるように取り組んでいる。ユニット会議で身体拘束について確認し、抑制に繋がる言葉遣いについても話し合っている。日中は玄関にセンサーを取り付け、外に出たい気配を観察しながら利用者に合わせて対応している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部で開催される研修会に参加し虐待防止について学ぶ機会を持つと共に、社内に虐待防止委員会を設置し、社内全体の意識として虐待防止に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部で開催される研修会に参加し権利擁護の必要性を学ぶことで関係機関の方々、ご家族様と連携を図り、利用者様の支援に努めております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の前に面談にて十分に納得されるまで疑問や質問にお答えできるよう心がけております。また状況に応じ体験入居を行い、ご理解、ご納得頂けるよう努めております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「意見箱」を設置し、入居者様、ご家族様からの意見を頂けるようにしております。また、日ごろよりご家族様との連絡を蜜に図ることができるよう心がけております。	利用者の状況を報告する中で家族の来訪も多くなり、いろいろな機会を捉えて、要望や意見を聞いている。家族の意見などは個人ファイルの特記事項に記録し職員間で共有しているが、さらに見やすいように記録の整理を検討している。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は毎月の全体会議、ユニット会議にて職員間の意見交換の場を設置しております。	職員の意見などはユニット会議で話し合い、内容によっては、事業所管理者会議や社内会議で検討し、現場に戻している。職員は業務担当や利用者担当などの役割をもって運営に参加している。入社時には本部との面談があり、年2回は管理者との個人面談もある。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員との話し合いの場を持ち、意見を聞くなど勤務時間の調整、職員の確保に努めております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、動きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、社内研修等を通じ学ぶ機会を設けると共に、研修後は研修報告書にて情報を共有し全体でのレベルアップを目指しております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修や地域のグループホーム部会の講習会に参加し同業者との交流の場を得ると共に情報交換が行えるよう取り組んでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様との対話を大切にしアセスメントを作成し、課題や問題点を職員間で共有できるよう努めております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント(センター方式)作成に協力して頂く中で、ご家族様のご要望などを聞き取れるよう心がけております。その中でご家族様との関係作り、不安の解消を心掛けております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様、ご家族様から相談を受けた場合は速やかに面談、職員間で会議を実施し利用者様、ご家族様が望まれるサービス提供ができるよう努めております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の対話を大切にし利用者様の望まれる生活を汲み取れるよう心掛けております。その上で利用者様の能力に応じたお手伝いをさせていただいたり、教えを頂く中で共に寄り添い、支えあい、関係性を深めております。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	初期アセスメント作成にご協力頂き、意向を伺うと共にご家族様にも利用者様を支える一員として参加して頂ける様心掛けております。また、状況に応じ病院受診や外出行事にも動向して頂いております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様、ご友人様の来訪時にはゆっくりと寛げる様環境に配慮に努め、電話連絡や手紙の投函なども自由にできるよう支援しております。	知人や併設の福祉施設利用者の来訪時には、お茶などを出して楽しく過ごせるように配慮している。お墓参りや宗教の集まり、また留守宅を見に行くなど、利用者の気がかりなことに対応し、家族や職員の同行で支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の生活、生活スタイルを把握し、職員が利用者様間の調和となり、一人ひとりに合った支援を寄り添いながら行えるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もお花やはがきを贈るなどご家族様との関係継続を大切に心掛けております。		
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々利用者様の言葉や表情の変化に気をつけ、利用者様が困惑、不安になっておられる場合は寄り添い、問題解決に向け親身に向き合えるよう努めております。	生活歴などの情報をセンター方式のアセスメントで収集し、見直し時に情報を追加して利用者の意向を介護計画に載せている。日々の関わりで、その人なりの生活スタイルの理解を深めて意向を把握している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に面談や前任の担当者から情報を頂くと共に、利用者様、ご家族様の協力を得て入居前の生活の把握に努めております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター方式を活用しアセスメントを行い総合的に一人一人に合わせた生活の支援に取り組んでおります。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に一人ひとりの利用者様の状況、ケアについてスタッフ間、ご家族様の他、医療機関など必要な機関との話し合いを行い介護計画に反映させることができるよう努めております。	介護計画は、新規から1ヶ月ごとに2回見直し、その後3ヶ月ごとを3回見直し、状態が安定している場合は6ヶ月ごとの見直しとしている。書式を検討して更新計画作成の過程を分かりやすく整備している。家族の意向を確認し、計画書に押印をもらっている。	毎月のモニタリングを行い、介護計画作成の過程が分かりやすい方向で取り組まれているので、継続して全員の介護計画も統一した書式で進められることに期待したい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりに即したケア記録用紙を作成し、入居者様の情報の共有、介護計画の見直しに取り組んでおります。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	定期的に医師、訪問看護師の検診、歯科往診等を行い、適宜変化に対応できるよう努めております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事参加やボランティアの活用等を積極的に行い、地域との交流を大切にしております。また、交番への情報提供、町内会の方々にも協力頂き避難訓練を重ね、利用者様の安全確保に努めております。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に提携医療機関の往診を受けております。また必要に応じご家族様のご協力のもと個別の受診もっており、利用者様の心身の健康維持に努めております。	2週に1回協力医の内科と歯科の定期往診と週1回の訪問看護があり、いつでも相談できる関係が築かれている。緊急時や他科受診時には家族の付き添いに職員も同行し、結果などは個別ケース記録の医療面に記載している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医療機関の訪問看護師、医療連携している訪問看護ステーションの看護師が毎週来訪し、利用者様の状況を報告し、適宜必要な指示、処置等をしていただだけ利用者様の情報共有に努めております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院された場合は、お見舞いに伺い、ご家族様、病院機関との情報交換を行うと共に入居者様の安心、早期退院に向け共に支援行えるよう努めております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用開始時に「重度化・見取りに関する指針」をご家族様に説明し、同意頂いております。利用者様の状態変化に伴い、適宜連絡し説明を行い相談を行うと共に段階に応じ医療機関と連携を図り、利用者様の支援に努めております。	利用契約時に事業所対応の方針を文書で説明し同意を得ている。重度化から終末期と主治医が判断した場合は、別に作成した看取り体制の詳細な文書を基に同意を交わしている。今後は受診記録も含め関係者で話し合った記録類を個人ごとに整備して、分かりやすい記録の管理を検討している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時の連絡系統、対応のマニュアルを作成し、掲示すると共に、応急手当や初期対応の訓練を行い、急変時にすばやい対応を行えるよう努めております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	社内会議、運営推進会議の中で災害対策について話し合いを持ち、年2回、消防署、地域の方々の協力を得て昼夜を想定し避難訓練を開催しております。	避難訓練は併設福祉施設と合同で行い、消防署の立会いの下で町内会消防団や住民も参加し、反省会をして次回に繋げている。火災以外の対応や備蓄品の保管、またスプリンクラー設置の予定、近隣を含む緊急連絡網の作成などで災害時に備えている。	
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個別の対応を重視し、記録等の個人情報が出ないように十分に配慮しております。	利用者への呼びかけは、苗字や名前に「さん」付けを基本としている。気になる言葉遣いは職員間で注意し合い、誇りやプライバシーに配慮している。個人記録は、事務所で適切に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が自由に選択できるような環境設定を行い、自己決定しやすい声かけなどに配慮し一人ひとりの想いを大切にできるよう取り組んでおります。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりに合わせた個別の空間を大切にしながら安心して暮らせる環境づくりに努めております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容を活用したり洋服の買い物に同行等を行い利用者様が望まれる身だしなみができるよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様一人ひとりの意向に配慮し職員のサポートと一緒に食事を行っております。食欲が増すよう献立、食器や彩に工夫するよう心掛けております。また、外食や行食事、野外バーベキュー等食事に変化をつけ楽しんで頂ける様支援しております。	献立はユニットごとに職員が利用者の好みを取り入れながら作成し、本部の管理栄養士が確認している。誕生日は外食や出勤、赤飯など、本人の希望に応じて献立を考えて楽しく食事ができるように工夫している。昨年度は家族にも声をかけて、初めて全員で外食に出かけて食事を楽しんでいる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の管理栄養士の指導を得て職員が献立を作成しております。飲水の摂取量確認の為、都度記録を行い対応しております。また、利用者様の状況、考えに合わせ刻み食、粥食等の提供も行っております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日食後は口腔ケアを行い、定期的に歯科往診を受け、指導を受けております。利用者様本人ができない場合は状況に応じ、声かけ、介助を行っております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握しトイレで排泄して頂ける様支援しております。また、排泄が間に合わなくても不快な思いをされない様尊厳を大切にケアに努めております。	排泄記録や行動で各利用者の排泄パターンを把握して言葉かけや誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。トイレでの排泄はリハビリとして捉え、日中は必ずトイレへの誘導を行っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を確認し、運動や薬の調整を行っております。水分摂取量の少ない方には必要に応じ乳製品等を薦め排便コントロールできるよう支援しております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりに合った言葉がけで入浴を促し洗身、洗髪の意向を元にケアを行っております。入浴嫌いな利用者様に対しても精神的負担がかからないように配慮しております。	毎日午後を入浴時間として、週2回以上入浴できるように支援している。入浴拒否をする場合は、職員が交代で声かけしたり、足浴やシャワー浴を行い、入浴が嫌にならないように工夫している。本人の意向を聞いて、同性介助にも配慮している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	不眠がちな利用者様に対しては内面的に寄り添い夜間安眠できるように日中一緒に散歩や足浴等を行い生活リズムの改善に努めております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の薬は職員が管理しており服薬内容の作用・副作用などを把握し、症状に異常が見られた場合は早急に医療機関と連携を図っております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	おしぼり作りやお膳拭き、テーブル拭き等一人ひとりの能力、生活歴を考慮し行えるように支援を行っております。また、気分転換に散歩、ドライブ、外食、買い物など個別に楽しんでいただけるよう心掛けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム周辺の公園に散歩したり、車で買い物やドライブ、外食ができるよう支援しております。またお祭り、紅葉狩り、雪祭り見学など季節の行事などにも出かけております。	天気の良い日は、近くの「桜の杜」に毎日散歩に出かけている。利用者が精神的に不安定になった時は、気分転換にドライブなどに出かけるなど工夫した支援を行っている。利用者の希望に応じて、図書館や買い物、外食などに個別に出かけている。冬季后も、個々の体調に合わせて雪まつりなどに外出している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	定期訪問のパン屋さんでお好みのものを自ら購入できるよう支援しており、一緒に買い物に行く機会を持てるよう支援しております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様等に自ら電話をしたり、必要に応じてサポート、取次ぎを行っております。手紙の投函、代筆等を行い関係の継続ができるよう支援しております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	館内はバリアフリーとなっており、毎日清掃を行い清潔を保つと共に、心落ち着くよう生活感、季節感を感じずごせるよう装飾等にも考慮し、前庭の花壇にも季節ごとの花が咲くよう配慮しております。	居間は開放的で、大きな窓から見える庭の草花や戸外の景色から四季の移り変わりを身近に感じることができる。廊下や浴室、トイレなど、利用者の身体状況に応じて使いやすいように手摺を工夫したり、広さにも十分配慮した造りになっている。各ユニットごとに、利用者の好みに応じて掲示物や装飾を工夫して、落ち着いて過ごせるように配慮がなされている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者様同士で語り過ごせる様子ソファを設置し心地良い空間作り心掛けると共に、人の気配を感じながらも一人で静かに過ごせるよう廊下にベンチを配置し、それぞれが安心して過ごせる環境づくりを心掛けております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具やなじみのあるものを持ってきて頂ける様ご家族様と相談しながら、安心して過ごせる居室作りを心掛けております。	各居室の入口は、廊下からすぐ見えないように奥行きのある入口で、プライバシーに配慮した造りになっている。居室には本人の使い慣れた家具や馴染みの品物が持ち込まれ、落ち着いて過ごせるように工夫されている。壁には本人が制作した品々が飾られ、個性的で生活感のある居室になっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの理解力に応じた対応を心掛けており、観察を行うことで利用者様が混乱・失敗することなく安全な生活を送れるよう支援しております。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホーム みのり菊水元町		
所在地	札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成23年4月22日	評価結果市町村受理日	平成23年6月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「とまと館ユニット」に同じ
---------------

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170502512&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170502512&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成23年5月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設当時より、ホーム理念を作成し朝礼、申し送りでは理念の唱和を行っております。理念の実現の為、日々努力し取り組んでいます。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流バーベキューを毎年行い、地域の方々に参加して頂き、交流につとめております。その他、町内会の行事にも積極的に参加しております。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームが地域に貢献できる為に町内会の行事、催しに参加し、認知症の人を知ってもらい理解してもらえるよう活動しています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、定期的に運営推進会議を行い町内会の方、ホーム入居者のご家族に参加して頂き、行っております。会議での意見を参考にサービス向上に努めております。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	北海道、札幌市で行われている研修、講演会等に参加しサービスの向上に努めています。市の担当者とも積極的にコミュニケーションをとり協力関係に取り組んでいます。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束禁止についての研修に参加、理解しケアに取り組んでいます。玄関の施錠は夜間以外せず自由に出入りできています。身体拘束委員会を設置し、日々努力しています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加し勉強をし理解を深めています。社内に委員会を設置し虐待が発生したり、見過ごされたりすることのないよう努力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修に参加し理解を深め活用できるよう努力しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	御利用者様、御家族様には、契約に関する説明を十分に行い、納得していただき契約を行っております。随時不明な点も十分な説明を行っております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、いつでも御家族様より意見をいただけるよう行っています。意見は素早く反映できるよう努力しています。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議、ユニット会議を定期的に行い、職員の意見を聞く機会を設け意見を仕事に反映させています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、管理者、職員の個々の努力、実績、勤務状況の把握に努め面談を行い、相談、指導を行い労働時間等、条件の整備に努めています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な社内外の研修に積極的に参加できるよう支援しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修時等に、同業者とのネットワーク作りにつとめ、サービスの質の向上に役立てております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様のニーズを引き出して受け止められる様努力しております。 入居者様の担当スタッフが中心となり積極的にコミュニケーションをとれるよう努めております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	「説明と同時」を心がけ、御家族様との電話や来訪時には連絡を密にとり、不安なく安心できるよう、お互いに納得できるまでお話ができるようにしております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御家族様のお考えや要望を理解し、しっかり受け止められるように努めております。御家族様と御本人様のお話がしやすい環境をつくり相談を受けた時は速やかに対処しスタッフに通知しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭的な関係性を築けるよう、日常生活の中で喜怒哀楽を共有し個々にあったお手伝いや習慣を支えております。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様、入居者様の希望や悩みをお聞きし、アセスメントシートの記載にもご協力していただき、一緒に安心して生活できるような答えを導きだし、外出行事、室内行事などにお誘いし、御家族様と共に入居者様を支援しております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人との面会、以前住まれていた自宅への訪問や電話連絡等、御家族様との協力により、お互いに支えあえる関係作りに努めてます。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	必要に応じた見守りを行い、共有スペースの使い方や入居者様間の人間関係に配慮しお互いに支えあえる関係作りに努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後(死去退去含む)も、お花やはがきを送ったり、御家族様との関係を大切にしております。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との日々の関わりの中で表情や思い、意向を把握し不安や不満を取り除けるよう努めています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前から情報を頂き馴染みの家具や置物を持ち込み家族の写真や趣味の物などを貼られたりその人らしく過ごせる様な、環境づくりに努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントを作成し、入居者様の生活を観察、記録し、スタッフ全員で現状を把握できるよう努めています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居当初、担当職員が家族、関係者から本人の情報を収集しスタッフ、ケアマネ、かかりつけ医と話し合いセンター方式を利用して完成した計画書を御家族様に説明し、同意を得ている。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づいた点や、普段の何気ない様子などの情報を集めて記録に残しサービスの見直しや次の計画に残しサービスの見直しや次の計画のヒントにしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診、宗教活動の参加への支援、お墓参りへの同行、図書館利用支援等、個人のニーズに合わせて支えています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会で行っている、サロン等利用し入居者様の能力を発揮できる場面を作るよう努めております。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科医往診と週1回の訪問看護、又月2回の歯科医の訪問診療があり、受診体制を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の往診時、状況を報告、相談し指示を頂き入居者様の健康管理を行っています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院された際は、お見舞いに伺い状態の把握、ソーシャルワーカーさん、御家族様と情報交換を行い早期退院を目指しております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り・重度化に対し指針を設け御家族様、スタッフと方針を共有し取り組んでいます。医療機関との連絡が取れる体制になっております。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を定期的に受講し学習しています。緊急時は担当医、ホーム長に指示を仰ぎ、対応しております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防点検、避難訓練を実施(夜間、日中を想定)町内会の方々にも参加して頂き体制を作り連絡網を作成しております。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手を一人の人生の先輩として認識し、その人の尊厳を損なわない対応に努めております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各入居者様に合わせた対応を行い希望を表出しやすい様な環境づくりや声掛けをしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務が優先しないよう努力し個人の生活に合わせ安心できる環境づくりに努めております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を利用し入居者様の個性に合わせてカット、パーマ、毛染め等を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは入居者様の好みの物を取り入れ、季節ごとにメニューを考え提供しております。お手伝い可能な方にはおしぼりの用意、盛り付け、食器洗い等していただいております。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事量、水分量の記録を行い、個人の食事の量、形態を変えバランスのよい食事を提供できるよう努めています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力での口腔ケア困難な方には介助を行い、月に2回の訪問歯科受診でチェックを行い治療しております。夜間義歯洗浄剤の管理も行っています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様個々の排泄パターンにあわせケアしております。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含んだ食材を利用し食事を提供し、水分もたくさん摂取できるように努めています。		
45	17	入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回無理をせず希望の日、時間に入浴していただき、シャワーだけの方、ゆっくり入りたい方など個人の希望に合わせて支援しております。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	時間に関係なくそれぞれの生活リズムを尊重し休息して頂いております。安眠のため夕食後は牛乳を飲んだり服薬で調整をしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬情報をスタッフが用法・用量について理解し安全な服薬の支援を行っております。体調の変化にもすぐ対応できるよう主治医との連携も十分に行っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様それぞれの特性を活かした役割、お手伝い、レクリエーションを楽しんで頂いております。買い物、散歩、図書館利用、町内行事への参加等。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望を聞き、買い物、ドライブ、図書館、散歩等行っております。毎週、御家族様と外出・ドライブへいかれる入居者様もいらっしゃいます。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの力に応じて、お金を所持し、お買い物に行くことが困難な方には希望の商品を職員が代わりに買い物したり、可能な方には買い物ができるよう支援しております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	リビングに電話を設置し、いつでも自由に電話の使用ができるよう支援しています。手紙の代筆、投函の支援も行っています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、ホーム内の清掃を行い季節ごとにディスプレイを変え気持ちよく生活できるよう工夫しています。温度・湿度も快適なくらしができるよう配慮しております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングに食卓テーブル、ソファ、廊下にもソファを置き好きな時間に好きな場所でくつろげるよう配慮しております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は御家族と相談しなじみの家具や飾り物を置き以前と変わらない生活ができるよう居心地のよい居室になるよう工夫しております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりがそれぞれの能力に合わせお手伝いや、洗濯、食器洗い、シーツ交換、できることは安全にできるよう工夫し、混乱や失敗がないよう支援しております。		

目標達成計画

事業所名 グループホームみのり菊水元町

作成日 平成 23年 6月 3日

市町村受理日 平成 23年 6月 10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の中で、事業所独自のテーマなどを盛り込んだ内容の充実。	運営推進会議の更なる活性化と内容の充実	運営推進会議においてご家族様、地域の方の要望をくみ上げ、今後の運営推進会議の内容充実に努めたいと思います。また月々のおたより等にてご家族様に参加の要請を進めたいと思います。	1年
2	26	全員の介護計画の書式の統一	よりよい介護計画作成、情報の共有にむけて更なる書式の充実を図っていく予定です。	介護計画書の統一化と書式改善検討したいと思います。	1年
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。